

主な被災箇所と応急対応

E32高知自動車道

ダブルネットワークにより、都市間を繋ぐ公共交通を確保

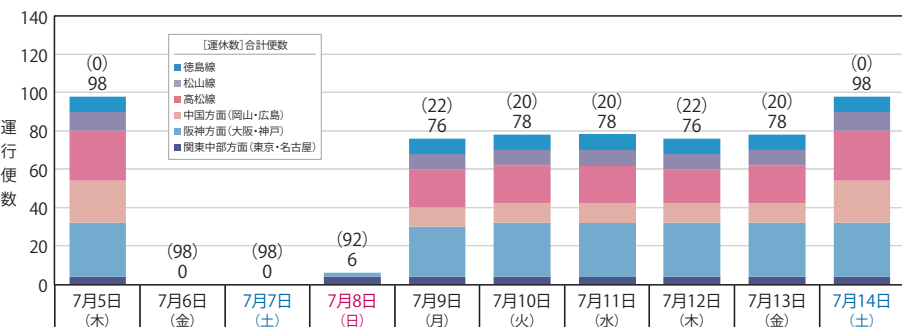
- 高知発着の高速バスは、高速道路の通行止めに伴い7月6日～7日にかけて全便(2日間での運休196便)が運休しました。
- 7月8日からは国道32号を利用して通行止め区間を迂回するとともに便数を減らした運行を実施(60分程度の遅延で運行)しました。
- 7月13日のE32高知自動車道の対面通行による通行止め解除により通常経路運行に戻るとともに翌14日からは通常の便数で運行を開始しました。

国道32号への迂回により高速バスの運行が可能に!

■高知県発着の高速バスの迂回状況



■高知県発着の高速バスの運行便数



← 高速バス運休 → ← 高速バス減便 →

※運行便数は、往路・復路の合計。 ※経路変更運行時は、全便が国道32号へ迂回して運行。

被災沿線地域の方々の声

高知県園芸農業協同組合

- この時期は、毎日約30台の大型トラックで、全国に野菜等を出荷をしています。
- 国道32号、高知自動車道が通行止めとなった、6日金曜は国道194号で北上、松山自動車道と徳島自動車道で出荷しました。
- その後、国道32号のみ開通した段階では、集荷・出荷の時間を1時間程度、早めてもらう対応をしていました。
- 高知自動車道の開通は、災害規模からすれば、早期に復旧され、影響は短期間で、かつ極めて軽微にとどまったと思います、大変助かりました。

四国運輸株式会社

- 高知自動車道、国道32号がともに通行止めになったのが週末だったため、配送等に大きな影響がなく、助かりました。
- 高知自動車道の開通はもう少し遅くなると思っていました。対面通行ですが、渋滞もなくスムーズに通行ができています。
- 高速道路がない地域では、国道が止まれば、迂回に使える道路がないので物流が全てストップしてしまうでしょう。

同区間は、過去にも国道32号が被災した事例が発生

- 平成16年7月の台風10号襲来時では、道路・法面の相次ぐ崩壊により国道32号が通行止めとなりましたが、並行するE32高知自動車道・E32徳島自動車道を代替路として、同区間を無料で通行可能とすることで、四国南北の人流・物流の断絶が免れました。

平成16年 台風10号による国道32号の被害

■高知市と県庁所在地間の移動における迂回状況



■国道32号 高知県大豊町大久保地先の道路崩壊状況(H16.8.1)



■被災による通行止め

災害状況	通行止め
8月1日 法面崩壊(高知県大豊町大久保)	8月2日 15時15分～5日22時(78時間45分)
8月10日 法面崩壊(徳島県山城町西宇字島)	8月10日 17時30分～12日17時(47時間30分)

国道32号が通行不能となり、高知市方面と高松や徳島方面を結ぶ幹線道路機能が麻痺

並行する高速道路の無料化を実施し、代替路として機能を発揮させ、四国南北の人流・物流の断絶を回避!

TOPIC トピックス

四国にはダブルネットワークが整備されていない地域が多数存在

■南海トラフ地震による津波浸水想定箇所の多くで、高規格幹線道路が未整備となっています。

■津波による浸水箇所及び最大津波高

